

取扱説明書

このたびは本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書には、安全に使用していただくための要点を記してありますので、ご使用前に必ずよくお読みになり、正しくご使用ください。お読みになった後は、いつでも読める場所に保管してください。また、本書を汚損したり紛失した場合は、お買い求めの販売店よりご購入ください。

本書に記載した  の表示のある注意事項や、機械に貼られた  の表示のあるラベルは、人身事故等の危険が考えられる重要な項目です。よくお読みになり、必ずお守りください。また、 の表示のあるラベルが、汚損したりはがれた場合は、お買い求めの販売店にご注文いただき、必ず所定の位置にお貼りください。

本書に記載した  の表示のある注意事項や、機械に貼られた  の表示のあるラベルでは、特に重要と考えられる取り扱い上の注意事項について、次のように3段階に分けて表示しています。

- | |
|---|
|  危険…その警告文に従わなかった場合、死亡または重症を負うことになります。 |
|  警告…その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があります。 |
|  注意…その警告文に従わなかった場合、けがまたは物的損害の恐れがあります。 |

なお、製品の故障や損傷につながる使い方に関する注意事項については、本書に **重要** の表示を用いています。本書に記載した図記号は、お守りいただく内容を説明しています。



禁止（してはいけない）内容



指示（必ず実行する）内容

目次

- | | |
|----------|------------------------|
| 1 | 安全のため必ずお守りください……………P.0 |
| | 作業前 |
| | 薬液の取り扱い |
| | 作業中 |
| | 作業後と保管 |
| 2 | 仕様……………P.2 |
| 3 | 梱包部品一覧……………P.2 |
| 4 | 部品の取り付け……………P.3 |
| 5 | 作業……………P.7 |



株式会社 麻場

本社／〒381-8530 長野市北長池1443-2
TEL : 026-244-1317
URL : <http://www.asaba-mfg.com>

1.安全のため必ずお守りください

1-1.作業の前に



警告



・アルミ合金は電気を通します。感電事故に注意してください

! 注意	⊘ ・次に該当する方は、この製品を使用しないでください。 ・酒気をおびた者 ・過労、病気、薬物（農薬を含む）の影響その他の理由により、正常な防除作業ができない者 ・妊娠中の者 ・満15歳未満の者 ・負傷中の者、生理中の女性等農薬による影響を受けやすい者
	! ・作業前に接続部のパッキンに脱落がないこと、各ネジ部にゆるみがないこと、ホースに亀裂、摩耗、破損のないこと等各部に異常がないことを確認してください。
	⊘ ・安全性を損なう恐れがありますので、改造しないでください。
	! ・この製品を他人に貸与、または、譲渡する場合は、必ず取扱説明書を添付し、よく読んでから使用するよう指導してください。

1-2.薬液の取り扱い

! 危険	⊘ ・やけど、火災の恐れがありますので強酸性の薬品、塗料、シンナー、ガソリン、灯油、ベンジン等は絶対に使用しないでください。
---	--

! 注意	! ・調合が適切でない薬液は、作物を傷めるだけでなく人体にも有害になる恐れがあります。薬液の調合の際は、農薬の使用上の注意をよく読み、正しく希釈してから使用してください。
	! ・農薬は必ず専用の保管庫に鍵をかけて保管し、絶対に食品や食器とは一緒に保管しないでください。
	⊘ ・誤使用、誤飲の危険がありますので、農薬は絶対に別の容器に移し替えないでください。
	! ・農薬の空容器は、散布液調合時に必ずよく洗い、薬品メーカーの指示に従って、その都度正しく処分してください。空容器を洗った水は薬害のない方法で処分してください。

重要	・防除、除草用の農園芸用薬品の散布、散水用途以外には使用しないでください。 ・安全性を損なう恐れがありますので、35℃以上の温水、発熱性の薬品は使用しないでください。
----------------------------	--

1-3.作業中

! 注意	! ・農薬の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護眼鏡、保護マスク、ゴム手袋、長袖の保護衣、長ズボン、ゴム長靴を着用し、皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。
	! ・水道、河川、水源地、池、沼、下水等を汚染しないように、また、人体や散布対象物以外の物にかからないよう風や周囲の状況に十分注意して作業を行ってください。
	! ・作業中、作業後にめまい、頭痛を生じ、または気分が少しでも悪くなった場合は、直ちに作業を中止し医師の診察を受けてください。
	! ・作業中に噴口部を清掃する場合は、顔面等に薬液がかかる恐れがありますので、必ずコックを停止状態とし、噴口部を取り外してから行ってください。

重要	・旋回・後進は必ずブーム等を上げ、散布バーが地面と接地しない様にしてから行なってください。 ・散布バーを接地させる際は、乗用管理機を前進させながら、ブームを下げて、散布バーが引きずられる状態で行なってください。
----------------------------	--

1-4.作業後と保管



- 
 ・作業後は手足はもちろん、全身を石鹸でよく洗うとともに目の水洗いとうがいをしてください。また、作業期間中は衣服を毎日取り替えてください。
- 
 ・機械の洗浄水は、水道、河川、水源地、池、沼、下水等に流入して被害を及ぼさないよう薬害のない方法で処分してください。
- 
 ・使用後は十分洗浄し、屋内の直射日光が当たらず風通しの良い、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 
 ・前回使用した薬液がホース、噴口等の内部に残っていると薬害を起こす危険性がありますので、洗浄作業は十分行ってください。

2.仕様

製品名称及び型式	大豆 Z パー 5 畦仕様	大豆 Z パー 3 畦仕様
本機寸法 (全長)	2900mm	1950mm
畦 数	5	3
散布バー取付ピッチ	600mm, 660mm, 700mm	700mm ~ 850mm
使用最高圧力	1.5MPa	
付 属 噴 口	吊り下げ Z ノズル	
吐出量 (1 頭口あたり)	0.9ℓ/min (吐出圧 0.8MPa 時)	
	1.0ℓ/min (吐出圧 1.0MPa 時)	
	1.3ℓ/min (吐出圧 1.5MPa 時)	
霧 形 状	扇状	
噴角 (1 頭口あたり)	100° (吐出圧 1.0MPa 時)	
用 途	大豆等の背高穀物の畝間・株間への除草剤散布等	

※上記の性能値は清水にて運転したテスト値であり、保証値ではありません。使用環境によりその値は変化します。

※改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

3.梱包部品一覧

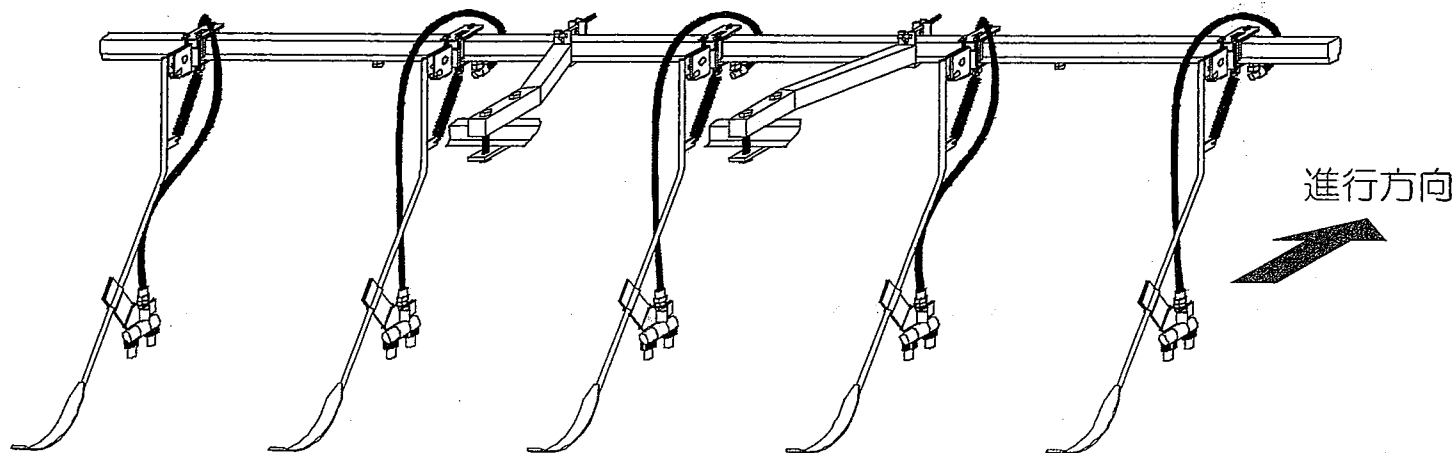
最初に、梱包部品が全部そろっているかどうか、輸送中の事故で破損している部品がないかを確認してください。もし、欠品または破損などありましたら、製品名と共に、お買い求めの販売店にお知らせください。

大豆 Z パー 5 畦仕様	個数	大豆 Z パー 3 畦仕様	個数
アルミランス	1	アルミランス	1
散布バー・噴口 ASSY	5	散布バー・噴口 ASSY	3
バー取付板	5	バー取付板	3
接続ホース φ6×1.0m G1/4	5	接続ホース φ6×1.0m G1/4	3
接続ホース φ10×1.0m G3/8	1	接続ホース φ10×1.0m G3/8	1
フレームアーム (右)	1	フレームアーム (右)	1
フレームアーム (左)	1	フレームアーム (左)	1
アーム取付板	2	アーム取付板	2
ワンタッチジョイント G3/8 (メス)	2	ワンタッチジョイント G3/8 (メス)	2
ワンタッチジョイント G3/8 (オス)	1	ワンタッチジョイント G3/8 (オス)	1
異径ニップル G1/4×G3/8	1	異径ニップル G1/4×G3/8	1
高圧ホースより戻し 90° G1/4	1	高圧ホースより戻し 90° G1/4	1
六角ボルト M6×75	15	六角ボルト M6×75	9
六角ボルト M12×200	4	六角ボルト M12×200	4
平座金 M 8 用	2	平座金 M 8 用	2
平座金 M12 用	8	平座金 M12 用	8
バネ座金 M 6 用	15	バネ座金 M 6 用	9
バネ座金 M12 用	4	バネ座金 M12 用	4
六角ナット M6	15	六角ナット M6	9
六角ナット M12	4	六角ナット M12	4
蝶ナット M8	2	蝶ナット M8	2
インシュロックタイ	10	インシュロックタイ	6
取扱説明書 (本書)	1	取扱説明書 (本書)	1

4.部品の取り付け

乗用管理機に製品を組付けます。

<製品組付例>



※図は5畦仕様の場合です。

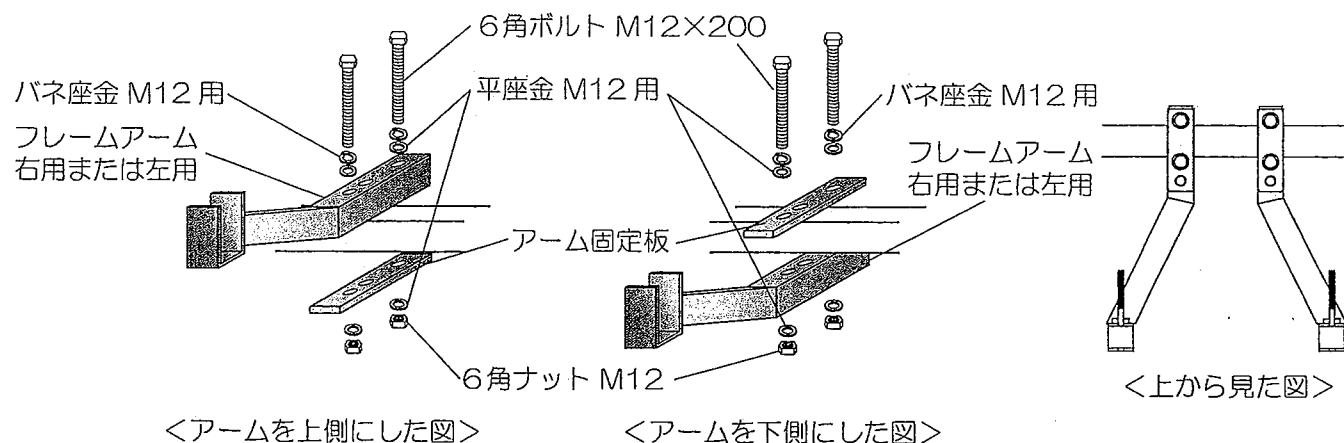
重要

- ・散布バーは進行方向に対して引きずる方向に取り付けてください。
- ・乗用管理機及びブームスプレーヤの1部機種で取り付けが出来ない機種もあります。

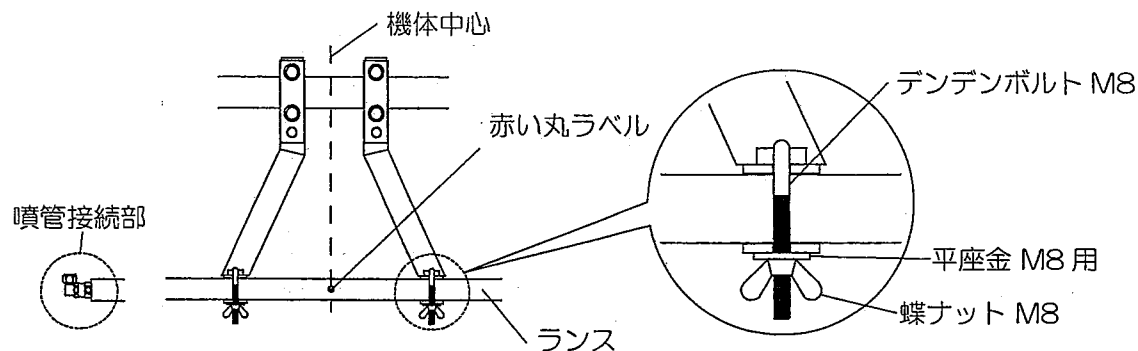
4-1.乗用管理機への取り付け

- 1) フレームアーム（右用・左用）を下図のように、ハの字となるように乗用管理機のセンターブームへ取り付けます。

センターブームのホース等が干渉する場合は、フレームアームとアーム固定板の上下を入れ替える等工夫して取り付けを行い、ホースとの干渉は避けてください。



- 2) フレームアーム（右用・左用）のコの字部にランスをはさみ、デンデンボルトと蝶ナットで蓋をします。ランスの1方の端面には本機と乗用管理機を接続するための噴管接続部としてし字金具が組み付けてありますので、噴管接続部が本機と接続しやすい方向にランスを組み付けてください。また、ランスの中央にはセンターを示す目安として赤い丸ラベルが貼ってありますので、フレームアームにランスを組み付ける際、2本のフレームアームの間に中央の赤い丸ラベルが位置するようにしてください。



4-2. 散布バーの取り付け

散布バーの取り付け方法は「5畦仕様」「3畦仕様」でそれぞれ異なります。

＜5畦仕様における取り付け方法＞

①センター散布バーの位置調整

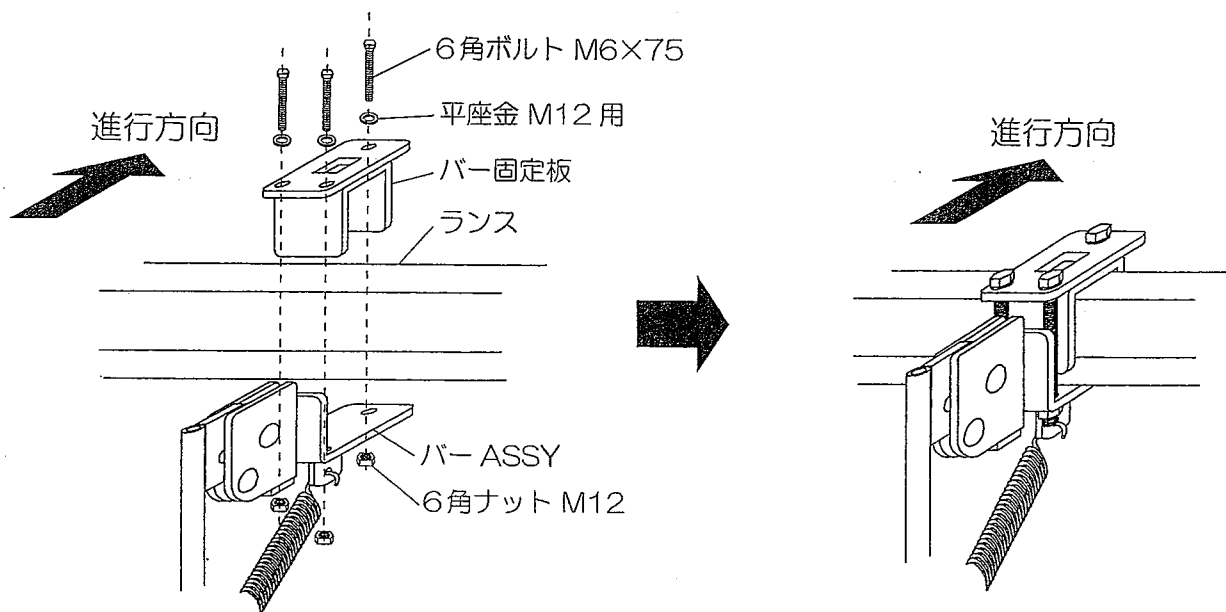
最初に、中央に配置される散布バーを取り付けます。

ランス上面には、散布バー取り付けの目安として色のついた丸いラベルが貼られています。

ランスの中央となる位置には、赤いラベルが貼られています。

①-1：ランス中央の赤いラベルを目安とし、ランスにバー ASSY とバー固定板を下図のように挟み込むようにして取り付けます。

（このとき、ネジは完全に固定せずに緩く止めると、後に行うバーの位置調整が楽になります。）

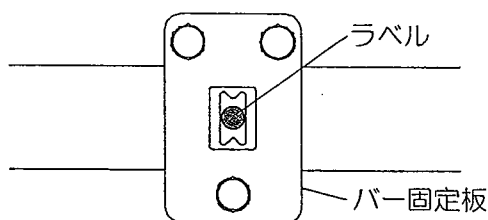


重要

・ 散布バーは進行方向に対して引きずる方向に取り付けてください。

①-2：バー固定板上面には四角い穴が開いており、ランスの表面を覗くことができます。

バー固定板の穴と中央を目安とした赤いラベルがピッタリ重なるよう散布バーの位置を微調整した後、ネジを締め込んで、しっかりと散布バーを固定します。



②残りの散布バーの取り付け

残りの散布バーを作業を行う圃場の畝間と同じ間隔になるように取り付けます。

取り付ける間隔の目安として丸ラベルが貼られており、ラベルの色によって間隔が異なります。

作業を行う圃場に合った間隔を選び、「①センター散布バーの取り付け方法」と同じ要領で残りの散布バーを取り付けます。

ラベル色	赤	黒	青	緑
間 隔	60cm	66cm	70cm	75cm ※

※75cm 間隔での使用は別途オプション品が必要になりますので、下記オプション製品をお買い求めください。

「大豆 Z バー 5 畦仕様 P=750MM 延長金具セット（別売）」

＜3畦仕様における取り付け方法＞

①センター散布バーの位置調整

ランスの中央となる位置に、赤いラベルが貼られていますので、＜5畦仕様における取り付け方法＞と同じ要領で、センターに位置する散布バーを取り付けます。

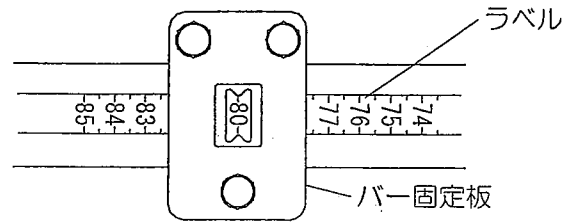
②残りの散布バーの取り付け

残りの散布バーを作業を行う圃場の畝間と同じ間隔になるように取り付けます。

取り付けの間隔の目安としてランスの両端に目盛があるラベルが貼られています。

取り付け間隔は70cm～85cmまで調整が可能ですので、作業を行う圃場に合った間隔を選び、「①センター散布バーの取り付け方法」と同じ要領で残りの散布バーを取り付けます。

(下図はピッチ80cmとしたときの図です。)

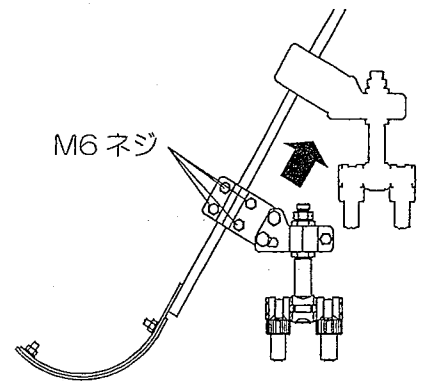


4-3. 噴口の調整

1) 噴口部の高さ調整

散布バーの噴口部は、バーに沿って接地面からの高さを調整できます。

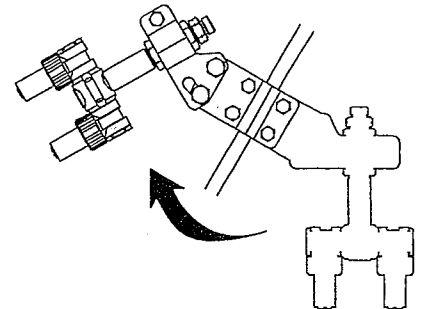
右図のM6ネジを緩め、噴口部をお好みの高さまで移動させた後、緩めたネジを再度締め付けて固定してください。



2) 噴口部の向き調整

散布バーの噴口部は、取り付ける向きを変えることができます。

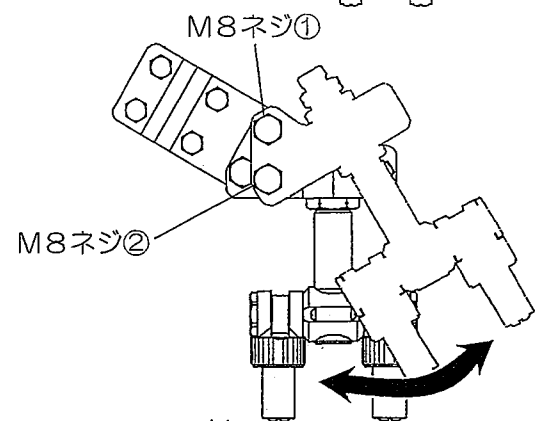
1)と同じ要領で、M6ネジを緩め、バーを中心にして噴口部をお好みの向きに回転させた後、緩めたネジを再度締め付けて固定してください。



3) 噴口部の角度調整

散布バーの噴口部は、ある程度角度の調整を行なえます。

右図のM8ネジ①と②を緩め、M8ネジ①を軸として、お好みの角度にM8ネジ②の締結位置を変えた後、緩めたネジを再度締め付けて固定してください。

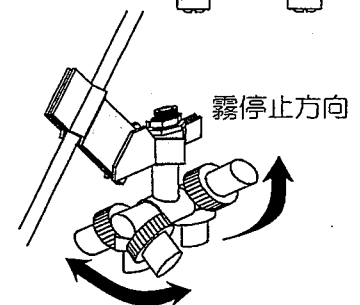


4) ノズルチップの角度調整

噴口部からの吐出方向は、ノズルチップを回すことにより調整することができます。

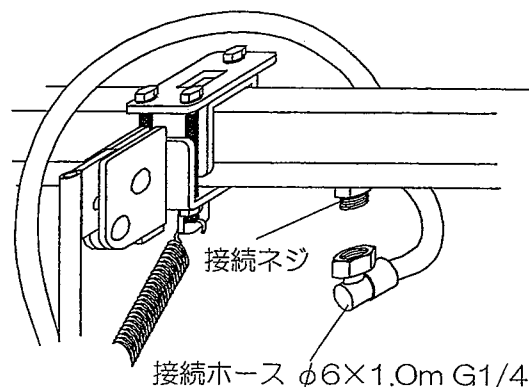
手でノズルチップの方向をお好みに調整してください。

ノズルチップを目いっぱい上に向けると、停止状態となり、ノズルチップから吐出しなくなります。

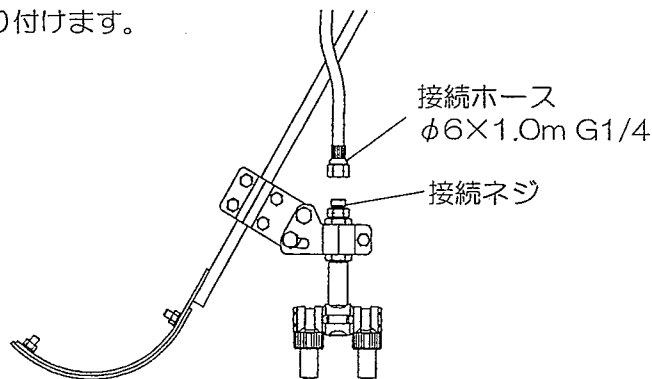


4-4. 接続ホースの取り付け

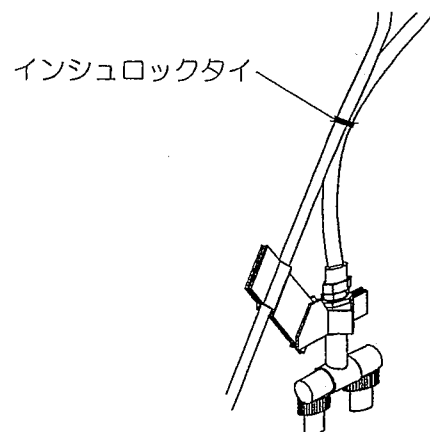
- 1) ランスの下面には散布バーと接続用のネジが組み付けてあります。取り付けた散布バーと最も近いネジに、付属の「接続ホース $\phi 6 \times 1.0\text{m G1/4}$ 」を組付けます。
組み付けるホースの金具はL字型の金具です。
※散布バーと最も近い接続ネジにキャップがされている場合は、キャップを外してから、ホースの金具を組み付けてください。
外したキャップは使用しない接続ネジに組み付けてください。



- 2) もう片方の接続ホースの金具を散布バーの噴口部ネジに取り付けます。

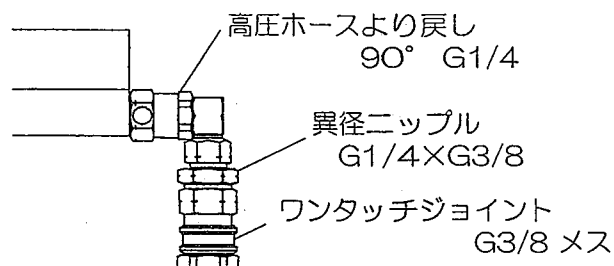


- 3) 接続ホースのたるみを抑えるために、付属のインシュロックタイで接続ホースを散布バーに固定します。
インシュロックタイは散布バー1本につき2本分を付属しています。

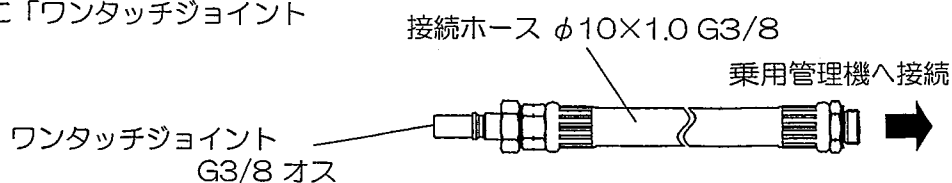


4-5. ランス接続部の組立

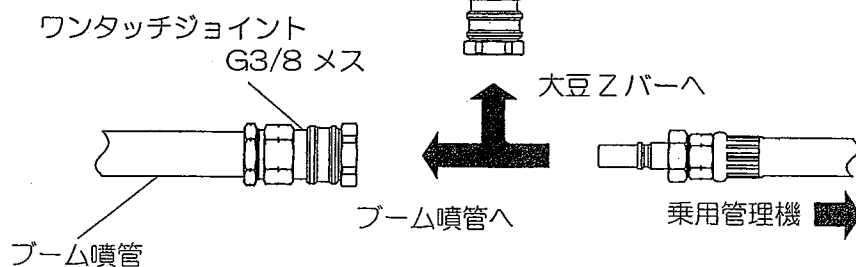
- 1) ランスの片端面には高圧ホースより戻し 90° G1/4 が組み付けてあります。
そこに、「異径ニップル $\text{G1/4} \times \text{G3/8}$ 」「ワンタッチジョイント G3/8 メス」の順番で組み付けます。



- 2) 付属の「接続ホース $\phi 10 \times 1.0\text{m G3/8}$ 」を乗用管理機本機に組み付けて、さらにホースの先の金具に「ワンタッチジョイント G3/8 オス」を組み付けます。



- 3) 付属の「ワンタッチジョイント G3/8 メス」を乗用管理機のブーム噴管へ組み付けます。乗用管理機からの接続ホースを大豆Zバー（本機）がブーム噴管に組み付けるかにより、乗用管理機の使用用途をワンタッチに切り替えることができます。



5.作業

5-1.散布作業

散布バーの位置を圃場の畝間に合わせて、薬液を散布しながら、均一な速度で走行し、散布作業を行います。

! 注意	! ・農薬の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護眼鏡、保護マスク、ゴム手袋、長袖の保護衣、長ズボン、ゴム長靴を着用し、皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。
	! ・水道、河川、水源地、池、沼、下水等を汚染しないように、また、人体や散布対象物以外の物にかからないよう風や周囲の状況に十分注意して作業を行ってください。
	! ・作業中、作業後にめまい、頭痛を生じ、または気分が少しでも悪くなった場合は、直ちに作業を中止し医師の診察を受けてください。
	! ・作業中に噴口部を清掃する場合は、顔面等に薬液がかかる恐れがありますので、必ずコックを停止状態とし、噴口部を取り外してから行ってください。

重要

- ・旋回・後進は必ずブーム等を上げ、散布バーが地面と接地しない様にしてから行なってください。
- ・散布バーを接地させる際は、乗用管理機を前進させながら、ブームを下げて、散布バーが引きずられる状態で行なってください。

5-2.作業後のお手入れと保管

! 注意	! ・作業後は手足はもちろん、全身を石鹸でよく洗うとともに目の水洗いとうがいをしてください。また、作業期間中は衣服を毎日取り替えてください。
	! ・機械の洗浄水は、水道、河川、水源地、池、沼、下水等に流入して被害を及ぼさないよう薬害のない方法で処分してください。
	! ・使用後は十分洗浄し、屋内の直射日光が当たらず風通しの良い、子供の手の届かない場所に保管してください。
	! ・前回使用した薬液がホース、噴口等の内部に残っていると薬害を起こす危険性がありますので、洗浄作業は十分行ってください。